

令和6年度 第3回 浜名中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月12日（木） 15時から16時30分まで
- 2 開催場所 浜名中学校 1階会議室
- 3 出席委員 竹内 佐織、松島 一博、岡田 正利、内山 益巳、小野崎 あゆみ、高橋 香代、
竹内 幸弘
- 4 欠席委員 平野 岳子
- 5 オブザーバー 井田 正人（浜名協働センター職員）
- 6 学 校 河合 和夫（校長）、黒柳 幸夫（教頭）、橋爪 敦志（主幹教諭）、西村 善希（生徒指導主事）、中島 洋子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
 - 1 会長あいさつ 2 校長のあいさつ 3 議長の選出 4 いじめ対策委員会の報告
 - 5 熟議；本年度の活動について等 6 連絡事項
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子
- 11 会議記録 司会は高橋委員が行った。

委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数ため、会議が成立している旨の報告があった。（司会）

1 会長のあいさつ（竹内会長）

2回目の運営協議会が暴風警報発令で中止になったため、今回まとめて協議を行う。

今日は、2年生の体験学習が行われており会長の会社でも元気に働く姿をみることができた。

運営委員会・保護者・地域との接点を持ち、学校を支えるべく熟議を重ねる。

2 校長のあいさつ（河合校長）

天候に悩まされる季節だが、防災に対する意識を高めることにする。

夏休みは問題なく過ごすことができた。部活動・ボランティア・交流事業等に生徒の参加がみられた。

始業式で、“行事を成功させよう”“学力・体力を身につけよう”“人の良さを見つけよう”という3つのお願いをした。

3 議長の選出について（司会）

司会から、議長の選出について会長を推挙する発言があり、全員拍手で異議なくこれを承認した。

4 いじめ対策委員会の報告（西村生徒指導主事）

いじめ認知件数は20件（継続9件）、確認中3件、経過観察中が5件となっている。

1年生で9件の報告があったが、異なる小学校どうし初めての出会いで、戸惑いや行き違いとなったケースが多く見られた。

インターネット上のトラブルは、水面下で動くことが多く把握が遅れがちで難しいが対処に努める。

5 熟議（司会 議長）

【資料参照】

これより議長に進行が交代した。

（1）本年度の活動について

① 放課後学習会について（議長）

【資料参照】

○支援・サポート員を地域から募るのに良い方法を検討してほしい。また、前期に挙がっていた懸案のため現状報告を学校に求めた。(議長)

- ・受験を控えた生徒に、勉強する時間と場所を提供することが目的である。教えるのではなく自習時間の監督と思ってほしい。できれば基本的質問に対処してほしい。浜松市からの助成金が確保された。開催期間は資料参照。(黒柳教頭) 【資料参照】

○時間帯はどうなっていますか。(議長)

- ・15:00～16:10開始が基本で、終了は17:00を基本としている。開始時間は曜日・日にちによって変わる。(黒柳教頭)

○監督・見守りの方をどのような方法で募集したら良いか。(議長)

- ・高校・大学生でも良いのか。(小野崎委員)
- ・助成金を支払うため成人が良い。(黒柳教頭)

○他校の様子はどうですか？(議長)

- ・他校では、質問に答えることより励ますことの要素が強かった。(黒柳教頭)

○委員の皆さんの意見が聞きたい。(議長)

- ・委員各自の事情が述べられた。不安はあるが可能な限りサポートはしたい。(松島委員、岡田委員、高橋委員)
- ・質問に対して先生との仲介役はできる。(松島委員)
- ・民生委員・PTA関係者・業務上の関係者等に状況を伝え、募集をすることは可能である。教えることが壁になるかもしれない。(内山委員、小野田委員、松島委員)
- ・実績作りとし着実に実行したい。学校への連絡は10月中旬頃までをお願いしたい。(黒柳教頭)

②防災訓練の指導(議長)

【資料参照】

人数が多いため、避難に8分ほどかかり不安がある。(黒柳教頭)

- ・点呼役と他の役割の連携がスムーズにできていて、訓練の効果が出ている。生徒と先生の役割が確認できると良い。初見の意見が必要なので他のメンバーにも声掛けをする。(松島委員)
- ・消防署との連携訓練はできているのか。(議長)
- 地震対応訓練のため通報のみである。消化器を実際に使用する必要がある。(黒柳教頭・松島委員)

○オブザーバーの意見を求める。(議長)

“協働センターまつり”への生徒の参加をボランティアとともに依頼があった。

情報発信として、放課後学習会の広報はできる。(井田オブザーバー)

議長より熟議終了の発言があった。

6 連絡事項 司会の交代があった。

(1) 今後の行事予定(司会)

【資料参照】

(2) 合唱指揮者指導講習会の計画(司会)

【資料参照】

(3) 今後の学校運営協議会開催予定(司会)

【資料参照】

(4) 学校評価の評価項目について(橋爪主幹教諭)

【資料参照】

グランドデザインに沿った項目を設定していく。

- ・生徒に学校運営委員会の認識がないので項目に入れたらどうか。(竹内会長)
- ・保護者設問に“子供は”“学校は”だけではなく“あなたは”を加えることが必要。(松島委員)
- ・3番と10番の設問が似ている、また14番はざっくりしていて判断に迷わないか。親のフォローがわかる設問があっても良いのでは。

アンケートをとることが目的ではなく、結果の有効活用をしてほしい。(内山・松島委員、竹内会長)
他校も似た設問で行われている。細かな設定は学校でできる。(西村生徒指導主事)

(5) 制服検討委員会の報告(黒柳教頭) 【会議室前方に展示】

新制服が決定。(ポロシャツ、黒にグリーンの交織り、シワになりにくい)。

胸元のエンブレム・ボタンのデザインを公募中(9月下旬に決定予定)。

学校主催で、地域販売業者への合同説明会(値段・採寸方法等)を企画中(10月中)。

移行スケジュールとして、新入生採寸会(12月)を皮切りに、以降毎年3年の移行期間の後、令和12年度全員新制服へ移行完了の予定。

(6) 部活動の地域移行について(河合校長) 【資料参照】

浜松市として不確定な部分も多々ある。

令和8年9月までに、休日の部活動を“地域クラブ活動”に移行する。休日の部活動は行わない。

大会については、現在検討中。国の方針として、平日の活動も地域クラブへの移行を目指している。

浜松市として検証の後、随時改正を行っていく。

“地域クラブ活動”は、地域や年齢が違ふことが想定される。現在100余りの団体登録がある。

休日の教師の指導活動についても、多様性がみられ浜松市で検討中である。

『部活動指導員』の増員・拡充を目指している。

○浜名中学生徒の部活動参加率はどのくらいですか。(内山委員)

運動部・文化部両方で9割ほど加入してる。(河合校長)

○地域クラブに参加するには会費が必要になる。学校は無料。(岡田委員)

○大会前の練習に、学校と地域クラブで一貫性が保たれるか。(岡田委員)

○大会等に参加する時の、団体名により、健全育成会の補助金が出ない状況が発生する。(岡田委員)

・中体連の大会にクラブ名で参加できる。(河合校長)

・大会参加時の登録名等については検討中。(橋爪主幹教諭)

・大会参加団体を、学校か地域クラブにするか生徒や親が混乱する時がくる。(高橋委員)

・全国規模の大会ではクラブチームが多い。大会の仕組みは検討が必要になるかも。(河合校長)

(7) 教育総務課より総評(井島指導主事)

・「部活動の地域移行」について、情報提供とともに継続協議を依頼された。

・1000人の命を守るのは大変な中、防災の話を検討し共有できている。

・放課後学習室計画では、地域で子供達を育成していく取り組みは良い。

・“CSだより”等で学校運営協議会について広報し、認知度を高めてほしい。

・学校評価項目の精度を上げ、学校改善の検討材料にしてほしい。